

(様式3)

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」
住民支え合い活動報告書

助成団体	団体名	ふりがな えぬびーおーほうじんくまもとひさいしやしえんたい NPO 法人くまもと被災者支援隊			
	所在地	〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町〇-〇 被災者支援ネットワーク事務所内			
		TEL 000-000-0000 / FAX 000-000-000			
		メール kumamoto123@kuma123.or.jp			
		ホームページ http://www.kumamoto123.jp			
代表者名	ふりがな あかいはね たろう 赤い羽根 太郎 印				
申込責任者名 (連絡先)	ふりがな あかいはね じろう	〒860-0001 熊本市中央区千葉城町〇-〇			
	赤い羽根 次郎				
	TEL 000-000-0000 携帯電話 000-0000-0000 FAX 000-000-0000				
実施結果	事業名	ひとり暮らしの高齢者等支援サロン事業	助成金額	100,000 円	
	実施時期	令和 3年 12月 18日 ~ 令和 4年 5月 14日			
	実施内容 ※写真はHP等で公表してもよいものを別途1枚以上添付してください。	<input type="checkbox"/> 生活支援活動 <input checked="" type="checkbox"/> サロン事業 <input type="checkbox"/> 季節の行事 <input type="checkbox"/> 住民交流事業 <input type="checkbox"/> その他 ※添付の活動事例をご覧の上、主な該当項目に1つだけチェックをつけてください。			
		実施した内容、背景、どのような効果があったか、評価、今後の課題などできるだけ具体的にご記入ください。			
		実施した内容・背景 災害公営住宅に移ってから、家に閉じこもりがちな高齢者等が多数おられ、住民同士の交流があまりないため、レクリエーションでのゲーム大会や、茶話会を開催するなどして、住民同士が交流の機会を設けた。			
実施日時		12月18日(土)、3月12日(土)、5月14日(土) 13時~16時			
実施場所	災害公営住宅集会所				
実施効果	当NPO 団体スタッフによるレクリエーションでボウリングをしたり、茶話会では会話が弾むなど、時間を忘れるほど楽しく交流されていた。				
今後の課題	初めのうちは参加者が少なかったが、徐々に参加者が増えていった。今後も声掛けを続けて、レクリエーションや相談会など、交流の場を作っていきたい。				
参加者の声	参加人数 (各月20) 名 〇災害公営住宅に入居しているが、知り合いが少なくあまり外に出ていなかったが、今回のレクリエーションを通じて、近所の方と会話する機会が出来たのはよかったです。〇久しぶりに一日笑って過ごせました。参加者の方ともたくさん会話が出来て嬉しかったです。				
寄付者へのメッセージ	みなさまの募金により、災害公営住宅に入居されているひとり暮らしの高齢者の方々とのレクリエーションを開催し、楽しんでいただくことが出来ました。今後も、多くの方が参加できる事業を計画し、住民同士の交流が深まるような環境作りに努めたいと思います。今後ご支援よろしくお願いたします。ありがとうございました。				

(様式4)

事業実施精算報告書

助成金決定額

100,000 円

支出内訳

項目	金額(円)	詳細 (内容・単価×個数など)
備品購入費	23,800	プラスチックボウリング、輪投げ、トランプ
消耗品費	15,800	コピー用紙、模造紙、マジックペンセット
印刷費	10,000	コピー機使用料
交通費	15,000	運営スタッフ：@1,000×5名×3回
会場料	9,000	会場料(電気代含む)×3回
茶菓代	12,000	お菓子他×3回
合計	85,600	

○今回申請された事業を実施するにあたり、本助成金以外にも活用した財源がありましたらご記入ください。(財源の種類 例) 助成金、補助金、寄付金、自己財源等

財源の種類	金額	財源の種類	金額
自己財源	0円		

1. 以上の支出項目に対象外経費は含まれていますか。 はい いいえ

2. 助成金が残った場合、残額は返金していただくことになっています。

助成金が残っていますか。 はい いいえ

「はい」と答えた団体は、その金額をご記入ください。 14,400 円

注 ①各項目の支出について領収書(レシートでも可)の写しを添付してください。

②精算報告は事業終了後1か月以内に行ってください。